

平成 28 年度事業報告

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

1. 事業実施の概要

平成 28 年度も各地で気象災害が発生した。6 月には本州付近に梅雨前線が停滞し、その前線を低気圧が次々に通過した。梅雨前線は一時南下したが、再び本州付近に北上して、九州を中心に西日本各地に記録的大雨をもたらした。8 月には北海道で異例の台風による甚大な被害を受けた。北海道に台風が上陸したのは 9 年ぶりだが、1 年間に 3 つの台風が上陸したのは観測史上初めて。1 週間で 3 つの台風が上陸したのに加え、台風 10 号も接近し、暴風と豪雨による各地の川の氾濫、橋の流失が相次ぎ、JR や道路など交通網が壊滅的打撃を受けた。

異常気象など平年から大きくかけ離れた天候による生態系の変化、大雨災害の深刻化などの社会的影響も大きくなってきている。これらの異常気象を防ぐ対策の一つとして自然環境保全は大切な取り組みと考えられる。活動としては、行政、企業、NGO、地域住民などが様々な立場で自主的な取り組みを行なうと共に、連携して取り組むことが重要であるとする。

そこで、公益財団法人日野自動車グリーンファンド(以下 HGF)は、自然環境保全活動を行なう団体への助成事業、自然とのふれあいを深め自然を大切にする心を育むイベント等の自主事業を継続して実施した。財団設立から約 26 年を経過し、助成事業は、総件数 420 件、助成金の累計は約 2.4 億円となった。これは、HGFの評議員、役員の方々のご理解とご協力をいただき、地道に事業を継続してきた成果と考える。

公益法人の社会に果たす役割の重要性は、今後も益々増大する状況にあること鑑み、財団設立時の基本理念「社会環境との調和」を踏まえ、「地球規模で考え、行動は足元から」をモットーに、自然保護に関わる団体への助成、自然環境保全の啓蒙に関する事業を継続し、更に充実させていく。

2. 個別の事業実施状況

(1)助成事業

平成 28 年度の助成事業の公募を 5 月 16 日から 7 月 31 日まで募集を行なった。応募してきた事業の審査・選考を 2 回の選考委員会で行い、その結果を理事会で審議・承認して平成 28 年度助成事業を決定した。

11 月には、平成 28 年度助成金贈呈式、平成 27 年度に助成した団体の活動発表会及び懇親会を日野自動車(株)の 21 世紀センターにおいて開催した。

1)平成 28 年度の助成の概要

平成 28 年 5 月 16 日に平成 28 年度の助成事業の公募を開始して、7 月 31 日まで募集をした。39 件の応募があり、平成 28 年 8 月 24 日及び同年 9 月 7 日に選考委員会を開催し、

助成する事業を審査・選考した。その選考の結果を理事会で審議・承認し、平成28年度助成事業を平成28年9月30日に決定した。平成28年度の助成件数は17件、助成金の総額は758万円。財団設立からの累計助成件数は420件、累計助成金額は約2.4億円となった。

2) 助成した事業の一覧

分野	団体名	都道府県名	活動テーマ	助成額 (千円)
樹木 草花の植 樹	宮古島環境クラブ(MEC)	沖縄県	沖縄宮古島添道サガリバナ群生地で南国季節の花園づくり活動	400
	きたはなプロジェクト	北海道	きたはなプロジェクト～地域協働による自生種を活かした緑化活動の取り組み～	500
	特定非営利活動法人 青梅 吉野梅郷梅の里未来プロジェクト	東京都	青梅・吉野梅郷 梅の里再生・梅の苗木植栽プロジェクト	370
	いのちの森づくり友の会	神奈川県	日野自動車グリーンファンド学校の森づくり	500
自然環境 の 保全	全国巨樹・巨木林の会	東京都	巨木を語ろう全国フォーラム開催記念 巨樹・巨木林の健康診断	800
	日野団塊世代広場	東京都	日野・百草山の緑と自然を守り活用する活動(その2)	500
	特定非営利活動法人 四季 の会	鹿児島県	住吉池湖畔「憩いの森」里山整備 part II	260
	河川愛護団体リバーネット2 1ながぬま	北海道	小鳥のさえずりが聞こえる河畔林づくり	400
	芦田川環境マネジメントセン ター	広島県	芦田川きれい☆きれいプロジェクト「芦田川水辺の学び舎」	300
	自然再生と自然保護区のため の基金	奈良県	学びと実践のための谷まるごと棚田の自然再生プロジェクト	300
	ECO village SHELTER project	新潟県	子どもたちのための森の学び場づくりと体験活動「木こりの学校」	400
調査と 研究	特定非営利活動法人 つく しん棒	岐阜県	環境にやさしい防草材の調査研究—中山間地の高齢者を救う!ぞ	350
調査と 研究	特定非営利活動法人 東大 和ごみレスくらぶ	東京都	自家製竹パウダー応用の為の研究開発	800
教育と	環境ボランティアサークル	愛知県	思いが広がる、思いがつながる～きれいな海	400

啓発	亀の子隊		を守るためのプロジェクト	
	特定非営利活動法人 富士山自然保護センター	山梨県	”The Natural Features of Mount Fuji Volume 2 Crisis of the Satoyama Environments” (「富士山の自然 Part.2」の英語版)の発行	600
	特定非営利活動法人 すいた環境学習協会	大阪府	自然環境の保全に資する教育や啓発活動の実施	400
	特定非営利活動法人 オオタカ保護基金	栃木県	「サシバの里」を知ろう、守ろう「里山自然塾」	300

3) 助成金贈呈式・活動発表会及び懇親会

◆平成 28 年 11 月 12 日(土)

◆日野自動車(株)21 世紀センター(東京都八王子市みなみ野)

助成金贈呈式には平成 28 年度の助成団体 17 団体と平成 27 年度の助成団体 16 団体の代表の方々、当財団の評議員、理事及び監事の方々、約 65 名が参加した。

市川理事長の開会の挨拶の後、石川晴雄選考委員長(HGF 理事)から、応募状況及び選考の基本的な考え方などが選考経過として報告された。その後、市川理事長から平成 28 年度の助成団体に助成金目録を贈呈した。

活動発表会では、平成 27 年度の助成団体 16 団体が 1 年間の活動成果を発表した。助成金目録の贈呈を受けた団体も参加し、多くの質問が飛び交う、熱心な意見交換が行われた。

最後に、西川智登 HGF 理事が講評と閉会の挨拶をして、活動発表会が終了した。

活動発表会の後、助成金贈呈式及び活動発表会に参加した団体の方々、当財団の評議員、理事及び事務局が参加して懇親会を行なった。短い時間であったが団体の自己紹介や情報交換、当財団の評議員や理事の方々との懇談など、和やかな時間を過ごした。

4) 助成した団体の訪問

平成 27 年度に助成した団体を訪問し、活動現地を確認すると共に、意見及び要望の聞き上げを行なった。これらは今後の助成事業に反映していく。

①特定非営利活動法人四季の会

◆平成 28 年 7 月 26、27 日(火、水)

◆鹿児島県始良市

◆訪問者：若林専務理事、長谷川事務局員

②NPO 法人 ふるさとの森づくりセンター

- ◆平成 28 年 8 月 7 日(日)
- ◆東京都あきる野市
- ◆訪問者 : 若林専務理事、江波戸事務局員

③大豊シャクヤクの会

- ◆平成 28 年 9 月 3、4 日(土、日)
- ◆高知県長岡郡
- ◆訪問者 : 恵木専務理事、江波戸事務局員

④環境ボランティアサークル亀の子隊

- ◆平成 28 年 10 月 15、16 日(土、日)
- ◆愛知県田原市
- ◆訪問者 : 恵木専務理事、長谷川事務局員

(2) 自主事業

自然環境に関する教育と啓蒙のために、主に子どもたちを対象とした自然に親しむイベントと大人を対象とした環境講演会を開催した。

1) 探鳥会

- ◆平成 28 年 5 月 21 日(土)
- ◆日野自動車 21 世紀センター&栃谷戸公園(八王子市みなみ野)
一般市民の方 28 名の参加を得て、探鳥会を開催した。講師は、(公財)日本野鳥の会の理事・主席研究員で、HGF の評議員でもある安西先生にお願いした。
初めに鳥の子育てや鳥のエサとなる虫たちの話を部屋で聞いた後、本施設に隣接し、里山の残る栃谷戸公園で野鳥観察を行なった。
天気にも恵まれ、絶好の探鳥会となり、公園ではオナガの親子やコゲラを観察でき、姿は見えませんでした。キビタキの声も聞くことができました。公園に向かう道中や公園内では咲いている草花の説明もしていただき、とても勉強になり、楽しい 1 日となった。

2) ぐんま昆虫の森バスツアー

- ◆平成 28 年 7 月 23 日(土)
- ◆ぐんま昆虫の森(群馬県桐生市)
一般市民の 15 家族 40 名に参加を得て、(公財)日野自動車グリーンファンド(HGF)主催ぐんま昆虫の森バスツアーが開催した。連日雨が続いて気温が低く、虫がいるのか心配する声が聞かれたがカブトムシ、クワガタ、蝶などを観察することができた。午前中は 3 班に分かれ園専属の説明ボランティアの方々に園内の案内をしてもらい、道中ではオニ

ヤンマなど都会では見かけない珍しい昆虫を発見した。怖がった様子の子どももいたが、実際に触ることもでき嬉しそうな様子でした。

午後はHGF理事でもある矢島名誉園長のお話を聞いた後、質問タイムを行った。質問タイムは毎年好評で、今回も子ども達からたくさん質問が出た。しっかりメモを取る子どももいて、楽しみながら勉強のでき良い1日になった。

3)炭焼き体験

◆平成28年9月25日(土)

◆みなと区民の森環境学習施設(東京都あきる野市)

NPO法人あきる野さとやま自然塾の協力のもと炭焼き体験を実施し、一般市民の方20名が参加した。

午前中は林の中に入り直径20cmほどの檜を実際に切り倒す間伐体験を行った。

小さな子どももヘルメットをかぶり、斜面に立ち、のこぎりをひき、木が倒れる瞬間はなかなかの迫力でした。午後には炭焼き体験、丸太切り体験を行ない、炭焼き体験では炭焼き窯の中に入り、炭の原料の木材を並べ、暗く狭い窯の中での作業を経験した。最後に、この窯で焼いた檜の炭やコースターをお土産として持ち帰った。

秋雨がずっと続いており天候が心配されたが、清々しい気候の中で自然と触れ合うことができた1日であった。

4)環境講演会

◆平成29年2月27日(月)

◆日野自動車(株)本社大ホール(東京都日野市)

一般市民の方105名が参加して、環境講演会を日野自動車(株)の大ホールにて開催した。今回はフジテレビ系列とくダネ! 気象キャスター天達武史氏に「異常気象と環境への影響」というテーマでご講演いただいた。参加者は天達さんの話を熱心に聞き、有意義な時間を過ごした。

(3)その他の事業

近隣の団体が主催する環境保全活動や緑化活動に参加した。

平成28年4月19日に日野市が主催する多摩川・浅川クリーン作戦に参加し、地域団体やボランティアと共に、浅川河川敷のゴミ拾いに汗を流した。

また、同年6月19日には、日野市と(公財)日野市緑化協会共催のコスモスアベニューに参加し、スポーツ公園の周辺にコスモスの種をまき、これらにより一般市民や地域団体と交流し協力関係を築いた。

3. 評議員会及び理事会等の開催

下記の評議員会、理事会及び実行委員会等を開催し、財団の円滑な運営を図った。

(1) 評議員会

1) 第1回評議員会

- ◆平成28年6月10日(金)
- ◆日野自動車(株)会議室
- ◆平成27年度事業報告及び決算報告他の承認

2) 第2回評議員会(決議の省略の方法による)

- ◆平成28年7月28日(木)
- ◆理事辞任に伴う補欠選任及び新任理事選任の承認

3) 第3回評議員会

- ◆平成29年3月3日(金)
- ◆日野自動車(株)会議室
- ◆平成29年度事業計画及び正味財産増減予算他の報告

(2) 理事会

1) 第1回理事会

- ◆平成28年5月26日(木)
- ◆日野自動車(株)会議室
- ◆平成27年度事業報告及び決算報告他の承認

2) 第2回理事会(決議の省略の方法による)

- ◆平成28年7月11日(月)
- ◆理事辞任に伴う補欠選任及び新任理事選任の承認

3) 第3回理事会(決議の省略の方法による)

- ◆平成28年7月20日(水)
- ◆評議員選定委員辞任に伴う補欠選任及び新評議員選定委員選任の承認

4) 第4回理事会(決議の省略の方法による)

- ◆平成28年8月9日(火)
- ◆代表理事(専務理事)、業務執行理事、実行委員及び選考委員の承認

5) 第5回理事会(決議の省略の方法による)

- ◆平成28年9月2日(金)

◆特定個人情報取扱規程等の承認

6)第6回理事会(決議の省略の方法による)

◆平成28年9月30日(金)

◆平成28年度助成事業の承認

7)第7回理事会(決議の省略の方法による)

◆平成29年1月23日(金)

◆事務局長辞任に伴う補欠選任及び新任事務局長選任の承認

8)第8回理事会

◆平成29年2月17日(金)

◆日野自動車(株)会議室

◆平成29年度事業計画及び正味財産増減予算他の承認

(3)実行委員会

1)第1回実行委員会

◆平成28年5月13日(金)

◆日野自動車(株)会議室

◆平成27年度事業及び決算報告他の承認

2)第2回実行委員会(決議の省略の方法による)

◆平成28年7月1日(金)

◆理事辞任に伴う補欠選任及び新任理事選任の承認

3)第3回実行委員会

◆平成29年2月3日(金)

◆日野自動車(株)会議室

◆平成29年度事業計画及び正味財産増減予算他の承認

(4)選考委員会

1)第1回選考委員会

◆平成28年8月24日(水)

◆日野自動車(株)会議室

◆平成28年度に助成する事業の選考(#1)

2)第2回選考委員会

- ◆平成 28 年 9 月 7 日(水)
- ◆日野自動車(株)会議室
- ◆平成 28 年度に助成する事業の選考(#2)

以上

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 29 年 5 月
公益財団法人日野自動車グリーンファンド